

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	奈良県奈良市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	奈良市文化遺産地域活性化事業計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>奈良市第4次総合計画（平成24年策定）及び奈良市文化振興計画（平成21年策定）を踏まえ、本補助事業を実施する。本市には、奈良時代から受け継がれてきた様々な文化の蓄積があり、これらを守り伝え、さらには活用し、地域活性化を推進することで、文化遺産を活かした文化振興、観光振興を図る。</p> <p>本補助事業の実施により、伝統文化の普及と継承を市民の自主的かつ創造的な活動により推進する。奈良市内にある様々な文化遺産を活用し、各事業において文化遺産の普及や継承、調査研究を図るとともに、公演や見学会、シンポジウム等様々な形で市民や観光客が伝統文化に触れ、理解を深める機会を提供する。</p> <p>※奈良市文化振興計画はURL（<a href="http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1402963087252/index.html">http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1402963087252/index.html</a>）を参照。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は市民活動部文化振興課が行う。</p> <p>また、補助事業は奈良市伝統文化いきいき実行委員会が実施する。</p> <p>構成団体：特定非営利活動法人奈良能、奈良製墨組合、一般社団法人 奈良県建築士会、赤膚山元窯保存会、公益社団法人奈良まちづくりセンター、奈良町にぎわいの家管理共同体、伝統の未来を見つめる会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 56,286 千円	平成29年度要望額： 21,799 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化の継承や体験ができる事業を文化団体と市が連携して実施することにより、市民が自分達のまちの文化遺産へ関心を持つきっかけと機会を効果的に提供することができ、自分達のまちの文化遺産は自らで守り後世へ伝えていくという愛着と誇りを持つ意識付けに寄与する。</li> <li>・今まで交流が少なかった文化団体の相互交流の機会が生まれ、他の伝統文化への理解促進や今後の事業連携が期待でき、文化遺産のより一層の活用、ひいては地域の活性化が期待できる。</li> <li>・なら燈花会などの既存の観光イベントとの連携によって周辺地域へのより一層の経済効果や、観光客の増加が期待できるとともに、観光客へ文化遺産を活用した事業を効果的にPRでき、文化遺産そのものについても関心の向上が見込まれる。</li> <li>・奈良市に存する世界遺産をはじめとした歴史的文化遗产、景観、風土などを最大限に活用する事業を、広い世代を対象に実施することにより、地域や観光に対する興味や理解をより一層引き出し、地域の魅力を発信する担い手の育成に寄与する。</li> <li>・生活様式の変化により維持存続が危惧される地域の歴史的建物や美しい景観を今記録することは、地域のこれからの示唆する上で貴重な資料となる。またその調査成果や分布状況の地域住民への報告や地域からの情報発信により、地域の文化財への認識が地域内外で進み、まちづくりやまちおこしに寄与することで地域の活性化が期待できる。</li> </ul>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>本市では、世界に誇る奈良固有の歴史と文化を活かしたまちづくりのマスタープランとして「奈良市歴史的風致地区維持向上計画」を策定し、平成27年2月に認定された。この計画とともに市民主体の取組みである当事業を実施することで、都市の魅力を高め、市民が愛着と誇りを持ち、訪れる人に感動をあたえられるようなまちをめざし、歴史的風致地区維持に寄与する。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	奈良市民活動部文化振興課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	奈良町エリアにある市立資料館等の総入館者数 (奈良市史料保存館、ならまち格子の家、奈良町にぎわいの家)			関連事業 :	①～⑤、⑦、⑪、⑬～⑰	
目標値 1 :	平成 27 年度	231,943 人	⇒	平成 33 年度	281,825 人	
設定根拠 1 :	平成24年度～27年度における奈良市観光入込客数の伸び率平均が3.3%であることを参考として、毎年度伸び率3.3%と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	奈良市観光入込客数			関連事業 :	①～⑱	
目標値 2 :	平成 27 年度	14,976 千人	⇒	平成 33 年度	15,000 千人	
設定根拠 2 :	奈良市第4次総合計画後期基本計画にて平成32年度に15,000千人の目標値を設定しており、33年度にはそれを達成している見込みとして設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
千人	千人	千人	千人	千人	千人	

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	奈良町の歴史・文化遺産を活かした地域文化遺産活性化事業 (通称: 奈良町モノ語り調査)	実施団体:	公益社団法人奈良まちづくりセンター			
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要:	28年度に町家の蔵などに遺された生活文化、民俗資料等を発掘した成果を写真と一部の実物を展示する機会を拡大する。また、29年度の手貝町会所など伝統的な建造物に遺されている文物調査の成果を、写真パネル約10枚等にまとめて展示、発信する。					
評価指標区分:	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	奈良町物語館への年間入場者数					
目標値:	平成 28 年度	30,000 人	⇒	平成 33 年度	36,000 人	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②:	奈良町の町家の魅力発信プロジェクト「奈良町の町家ガイドブック」の作成 (日・英)	実施団体:	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要:	奈良町の町家に特化したガイドブックを作成、地域住民や観光客に配布し、奈良町の町家の保存や活用等に役立てる。〈内容〉①奈良町の町家の特徴、魅力、デザイン等を解説②文化財等個別町家の説明					
評価指標区分:	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数 (自主事業分)	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	「奈良町の町家ガイドブック」増刷数					
目標値:	平成 28 年度	0 冊	⇒	平成 33 年度	500 冊	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
冊	冊	冊	冊	冊	冊	
事業③:	奈良町の町家の魅力発信プロジェクト「奈良町の町家マップ」の作成等 (日・英)	実施団体:	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要:	奈良町の特徴的かつ美観に優れた町家等の位置と説明を記載した地図を作成。モデルコースも策定し、観光客や地域住民に奈良町を散策する際の感動と保存への意欲醸成を図る。〈内容〉①文化財等の町家を中心に、奈良町の特徴的な町家を紹介。②見学のモデルコースを策定					
評価指標区分:	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数 (自主事業分)	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	「奈良町の町家マップ」増刷数					
目標値:	平成 28 年度	0 冊	⇒	平成 33 年度	500 冊	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
冊	冊	冊	冊	冊	冊	

事業④：	奈良町の町家の魅力発信プロジェクト「奈良町の町家暮らしガイドブック」の作成等	実施団体：	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	一般観光客向けに、奈良町の町家の生活文化とともに木造建築の特徴、意匠の魅力や機能性などを具体的かつ平易に紹介したガイドブックを作成し、奈良町暮らしへの理解を高める。＜内容＞①建物空間の説明、イラスト俯瞰図②建築物の個別部材説明 格子、床の間、箱階段、通り庭等					
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	「奈良町の町家暮らしガイドブック」増刷数					
目標値：	平成 28 年度 0 冊 ⇒ 平成 33 年度 500 冊					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
冊	冊	冊	冊	冊	冊	
事業⑤：	奈良町の町家の魅力発信プロジェクト「奈良町の町家の特徴を記した案内板の設置	実施団体：	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	奈良町の町家の魅力を一般観光客と市民へ紹介する木製の案内板を制作・設置。					
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	「町家暮らしガイドブック」のHPからのダウンロード数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 2,000 件					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑥：	赤膚山元窯情報発信事業	実施団体：	赤膚山元窯保存会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	平成28年度から実施している大型登り窯修理工事の記録写真及び解説パネルを作成し、パネル展を4回開催する。					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	赤膚山元窯保存会のFacebook投稿の閲覧者数					
目標値：	平成 28 年度 9,492 人 ⇒ 平成 33 年度 10,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	奈良町の歴史・文化遺産を活かした地域文化遺産活性化事業（通称：奈良町モノ語り調査）				実施団体：	公益社団法人奈良まちづくりセンター	
事業区分：	人材育成				事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	28年度に実施したなら教育大学の1年生の演習（自治会長への聞き取り調査）を継続するとともに、学生も事業⑧の調査に加わり、指導者によるセミナーを開いて人材育成に資する。また、これを奈良市内の文化財系の大学に広げるよう、実施団体と交流のある教員を通じて働きかける。自主事業として実施する。						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	調査参加者の後年度活動者数						
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒ 平成 33 年度		10 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		
事業⑧：	なら燈花会能開催事業				実施団体：	特定非営利活動法人奈良能	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	奈良の夏行事の代表格「なら燈花会」に合わせて能楽の発祥の地奈良において能楽を開催し、能楽の普及並びに古典芸能の啓発を行う。〈開催日・場所〉平成29年8月6日・奈良春日野国際フォーラム薨～I・RA・KA～〈内容〉観世流シテ方 久保信一朗による能「熊野」、金春流シテ方 佐藤俊之による能「影清」、大蔵流狂言「清水」、能の見方及び解説						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「奈良能」ホームページの年間閲覧数						
目標値：	平成 28 年度		120,000 回		⇒ 平成 33 年度		220,000 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
回	回	回	回	回	回		
事業⑨：	なら芝能開催事業				実施団体：	特定非営利活動法人奈良能	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	能楽の発祥の地奈良において能楽を開催し、能楽の普及並びに古典芸能の啓発を行う。〈開催日・場所〉平成29年11月5日・奈良県庁前芝生広場〈内容〉観世流シテ方 山中雅志による能「葛城」、金春流 長谷猪一郎による舞囃子「田村」、大蔵流 茂山千三郎による狂言「呼声」、その他仕舞、能楽入門講座						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「奈良能」ホームページの閲覧数						
目標値：	平成 28 年度		12,000 回		⇒ 平成 33 年度		22,000 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
回	回	回	回	回	回		



事業⑬：	奈良町の町家の魅力発信プロジェクトー見学モニターツアー「奈良町の町家を見て歩こう」	実施団体：	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	奈良町の特徴的町家・文化財町家を巡るコースを策定し、一般市民・観光客を対象に町家見学モニターツアーを開催。町家への関心・知識を高め、保存への意識向上を図る。〈内容〉奈良町の特徴的町家・文化財町家を選定し、ツアーを実施。専門家による説明。20名程度、3時間程度のコース見学を1回開催					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	制作した町家マップのダウンロード数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 3,000 件					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑭：	奈良町の町家の魅力発信プロジェクトーシンポジウム「奈良町の町家を知る」開催	実施団体：	奈良町にぎわいの家管理共同体			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	町家の保存や再生に関係する専門家のシンポジウムを開催し、奈良町の魅力を発信し、未来へ町家文化を繋ぐための工夫などを広く一般市民に啓発する。〈内容〉町家建築専門家・職人、文化財保存職等による講演と対談形式、町家ガイドブック等を元にしたパネル展も併設開催、一般市民向け(300名程度)、1時間半程度、1回開催					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	奈良町にぎわいの家の年間来場者数					
目標値：	平成 28 年度 96,000 人 ⇒ 平成 33 年度 124,800 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑮：	奈良市内における近世近代の歴史的建造物の掘り起こしによる地域活性化事業	実施団体：	一般社団法人奈良県建築士会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	①地域に根ざした歴史的建造物の掘り起こし調査(明治地域)：一般社団法人奈良県建築士会が育成した地域文化財建造物専門家を活用し、地域に根ざした歴史的建造物の掘り起こしのための調査を実施する。 ②文化財的価値の把握のための詳細調査(平成27年度に掘り起こし調査を実施した平城地域)：地域の歴史的建造物の特徴を備えた文化財的価値の高い建物について、外観及び内部の詳細な調査を実施する。					
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	(具体的な指標を記載してください。)					
目標値：	平成 年度 (単位) ⇒ 平成 33 年度 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

事業⑯：	奈良町の歴史・文化遺産を活かした地域文化遺産活性化事業（通称：奈良町モノ語り調査）	実施団体：	公益社団法人奈良まちづくりセンター			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	奈良町にある自治会が江戸時代から蓄積してきた文物の記録保存を、奈良まちづくりセンターのメンバーとともに自治会役員や地域の文化財保存グループ、学生らが行う。自治会の協力を得て、奈良町的生活文化を担う住民の持つ収蔵物の調査を行い、近世や近代の奈良町文化の全容解明につなげる。					
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	(具体的な指標を記載してください。)					
目標値：	平成	年度	(単位)	⇒	平成 33 年度	(単位)
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
事業⑰：	奈良町の歴史・文化遺産を活かした地域文化遺産活性化事業（通称：奈良町モノ語り調査）	実施団体：	公益社団法人奈良まちづくりセンター			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	事業⑯奈良町の歴史・文化遺産を活かした地域文化遺産活性化事業（地域の文化遺産次世代継承、通称：奈良町モノ語り調査）の調査成果である文化財の写真と記録を奈良まちづくりセンターが設置するデータベース上に整理して保存・公開する。また、それらのリストを作成する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	奈良まちづくりセンターホームページ内のデータベースの閲覧数					
目標値：	平成 28 年度	10,000 件	⇒	平成 33 年度	20,000 件	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑱：	赤膚山元窯記録作成事業	実施団体：	赤膚山元窯保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	29年度修理箇所である第3室から第8室までの3D測量を行う。また、大型窯の解体時から現在までの記録写真をダイジェスト映像にし、測量結果とともに記録DVDを作成する。DVDは全国の教育機関・研究機関等に配布するとともに、HPや動画共有サイトにて公開し、広く閲覧できるように情報発信を行う。さらに、3D測量技師を講師として3次元画像発表説明会と赤膚山元窯保存会会長による修理状況報告会も開催する。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	赤膚山元窯保存会Facebookにて公開する映像の再生数					
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒	平成 33 年度	2,000 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	

事業⑱：	赤膚山元窯大型登り窯修理			実施団体：	赤膚山元窯保存会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	大型窯の第3室から第8室の入口部分の修理、構造補強などを行う。修理方針と工事内容については、前年度に引き続き、複数の有識者からなる委員会を設置し、オブザーバーに奈良県教育委員会文化財保存課、奈良市教育委員会文化財課の参加を得て、指導・助言を受ける。					
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	赤膚山元窯保存会Facebookにて公開する映像の再生数					
目標値：	平成 28 年度		0 回	⇒	平成 33 年度 2,000 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	